【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【公表番号】特表2005-528817(P2005-528817A)
【公表日】平成17年9月22日(2005.9.22)
【年通号数】公開・登録公報2005-037
【出願番号】特願2003-553505(P2003-553505)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　1/387　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　1/387
Ｇ０６Ｔ　1/00　５００Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成17年11月18日(2005.11.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
データシンボルをメディア信号から抽出する方法であって、前記データシンボルは、量子化ステップサイズを用いたホスト信号の量子化及びディザベクトルによる前記量子化された信号のディザリングによって前記メディア信号に埋め込まれる、方法において、所定の範囲のディザ値を有する選択された信号サンプルのヒストグラムから、前記受信されたメディア信号の前記量子化ステップサイズを推定するステップと、前記推定されたステップサイズを用いて前記データシンボルを前記メディア信号から抽出するステップとを有することを特徴とする方法。
【請求項２】
請求項1に記載の方法において、ディザ値の前記範囲は、適用可能なディザ値の範囲の所定の部分である、方法。
【請求項３】
請求項1に記載の方法において、前記選択された信号サンプルは、所定のデータシンボルが埋め込まれた所定の信号サンプルである、方法。
【請求項４】
請求項1に記載の方法において、前記量子化ステップサイズは、前記ヒストグラムのフーリエ変換を用いて計算される、方法。
【請求項５】
量子化ステップサイズを用いて前記ホスト信号を量子化し、ディザベクトルによって前記量子化された信号をディザリングすることによって、データシンボルをホスト信号に埋め込む方法において、所定のデータシンボルを前記ホスト信号の所定のサンプルに埋め込むステップを含むことを特徴とする方法。
【請求項６】
データシンボルをメディア信号から抽出するための装置であって、前記データシンボルは、量子化ステップサイズを用いたホスト信号の量子化と、前記データシンボルによる量子化インデックスの変調と、ディザベクトルによる前記量子化された信号のディザリングとによって前記メディア信号に埋め込まれる、装置において、所定の範囲のディザ値を有

する選択された信号サンプルのヒストグラムを作り、該ヒストグラムから、前記受信されたメディア信号の前記量子化ステップサイズを計算する、手段を含むことを特徴とする装置。

【請求項７】

請求項6に記載の装置において、前記選択された信号サンプルは、所定のデータシンボルが埋め込まれた所定の信号サンプルである、装置。

【請求項８】

データシンボルをホスト信号に埋め込む装置であって、当該埋込みは、量子化ステップサイズを用いて前記ホスト信号を量子化し、前記データシンボルによって量子化インデックスを変調し、ディザベクトルによって前記量子化された信号をディザリングすることによって行われる、装置において、所定のデータシンボルを前記ホスト信号の所定のサンプルに埋め込むための手段を含む装置。

【請求項９】

埋め込まれたデータシンボルを有する信号であって、量子化ステップサイズを用いたホスト信号の量子化と、前記データシンボルによる量子化インデックスの変調と、ディザベクトルによる前記量子化された信号のディザリングとによって得られる信号サンプルを有する、信号において、前記ホスト信号の所定のサンプルに埋め込まれた所定のデータシンボルを含むことを特徴とする信号。